

# 沢さわだ田

## 自治センターだより

平成26年 4月号

- ◇編集と発行 沢田自治センター  
電話 26-0696  
FAX 26-3049
- ◇発行責任者：センター長  
増子 美知夫

### パソコン教室 5月から再開します。

12月から休止していた「パソコン教室」を来月から実施します。高齢者・初心者のための教室です。パソコン操作が思うようにできないという人、パソコンを使いたいが教えてくれる人がいないなど、機会があればやってみたいという人を対象に開設するものです。

昨年9月から12月まで開設した教室には、男女12名の受講者が集いました。今回も募集人員は10名程度とします。

- 開設期間 平成26年5月～7月までの3ヶ月間  
毎週木曜日 昼の部 AM10:00～11:30  
夜の部 PM 7:00～8:00
- パソコン 各自持参（機種や新旧は問題ありません）
- 費用 無料
- 講座内容 講師：沢田自治センター長（増子美知夫）  
：個人の希望により操作上の指導をいたします  
・文章作成 ・表計算 ・写真貼り付け等
- 申込方法 センターへお出でいただくか、電話での申し込みも可  
TEL 26-0696（沢田自治センター）  
（受付期間は4月末までですが、定員になり次第締め切ります）

\*\*\* \*\*

### 4月の行事予定

- 1日（火）・書道教室（A） 13:30～
- 2日（水）・民生委員方部会 9:00～
- 4日（金）・自治センター企画推進委員会 19:00～
- 5日（土）・沢田婦人会総会 19:00～
- 8日（火）・福寿会 9:30～ ・書道教室（B） 13:30～  
・白鳥の会事前会議（4班） 19:00～
- 10日（木）・白鳥の会総会 19:00～
- 11日（金）・自治センター運営協議会総会 19:00～
- 15日（火）・白鳥の会（4班） 9:00～ ・書道教室（A） 13:30～
- 16日（水）・共楽セミナー 19:30～
- 22日（火）・書道教室（B） 15:30～
- 25日（金）・防犯協会沢田支部総会 19:00～
- 28日（月）・交通安全沢田分会総会 19:00～

# 集落資源保全会情報

## みんなで地域の環境を守りましょう！！

沢井集落資源保全会では、農地・水保全管理支払交付金事業に取り組み、数年にわたり水質調査を実施してきました。その結果は下表のとおりです。

### 【 調査地点 : 白鳥池下流 】

調査項目	H22年	H23年	H24年	H25年	平均値
水素イオン濃度 (pH)	7.8	8.1	7.1	7.5	7.6
科学的酸素要求量 (COD)	6.4	5.3	4.0	6.0	5.4
硝酸態窒素 (NO <sub>3</sub> -N)	1.0	0.3	0.4	1.0	0.6

※ 年により調査月が異なるため、値にバラツキが見られる。

※ 簡易測定のため、参考値として見て下さい。

各数値とも問題はありませんが、個々人が環境保全を意識し、今後の活動を展開しましょう。

### 《参考》

#### 1. 水素イオン濃度 (pH)

水の水素イオン濃度は、水中で生ずるあらゆる科学及び生化学的変化の制約因子となっており、又分析におけるいろいろな化学反応の重要な制約因子でもある。

通常河川では、6.0～8.5の間である。(中性 : pH = 7.0)

#### 2. 化学的酸素要求量 (COD)

CODとは、水中の有機物などを酸化剤(過マンガン酸カリウム)で酸化するとき消費される酸化剤の量を酸素の量に換算したもの。水質汚濁を示す代表的な指標でBOD(生物化学的酸素要求量)とともに広く用いられている。有機物量の凡その目安として使われ、水の有機物汚染が進むほど値が大きくなる。水質関係の各種法令で規制項目として採用されている。

湖沼では1～8mg/L以下と定められている。

#### 3. 硝酸態窒素 (NO<sub>3</sub>-N)

硝酸塩として含まれている窒素のことで、水中の硝酸イオン(NO<sub>3</sub>-)として存在している。種々の窒素化合物が酸化されて生じた最終生成物で、富栄養化の原因となる。又多量に摂取された場合、体内で亜硝酸態に還元されてメトヘモグロビン血症などの障害を起こすことが知られている。平成11年2月に要監視項目から健康項目へ移行された。

基準値では、亜硝酸態窒素と硝酸態窒素をあわせて10mg/L以下と定められている。